

2022 会 告 No.11

◇通知・案内事項

- 第88年会 冠シンポジウム・ランチョン・イブニングセミナー募集……………本号7ページ
- 第88年会 広告・プロモーションビデオ・コマーシャル放映・展示募集……………本号7ページ
- 第25回化学工学会学生発表会 要項……………本号8ページ

◇本部・支部大会行事の開催予定

	(2022)	(2023)
◇年会		3/15～17(東京農工大学)
◇秋季大会		9/11～13(福岡大学)
◇支部大会	11/9～10(新潟大会)	
◇学生発表会		3/4(オンライン)

◇本部・各支部・部会行事 (「ゴシック」は新規掲載分および修正分)

行事プログラムの掲載は1回限りです。既載行事はカレンダー会告ページ(または各支部ホームページ)をご参照下さい。

開催年月日	行 事	申込締切	会 告 ページ
2022年11月 November			
1	第54回CEシリーズ講習会「プロセス・インフォマティクスの基礎と産業への展開」(東京都/オンライン)		9号14
1～2	粉体技術者養成講座 第3回【粒子加工】(静岡県)		7号10
4	岡山地区化学工学懇話会 2022年度化学工学基礎講習会(基礎編)(岡山県)		10号14
9～10	化学工学会新潟大会(新潟県)		8号13
9～11	「プラント計装制御-1」講座(東京都)	11月1日(火)	8号10
11	中国地区化学工学懇話会 2022年度 セミナー(広島県)		10号14
11～12/9	第9回初歩からの化学工学数学演習講座～データ解析および時系列データ分析の基礎～(オンデマンド)	12月2日(金)	9号14
16～18	「P&IDの作り方」講座(東京都)	11月8日(火)	8号10
17～18	第56回化学工学の進歩講習会「脱炭素社会に向けて進化するリサイクル技術の現在と未来」(愛知県/オンライン)	11月4日(金)	9号15
18	第32回化学工学一関セミナー(岩手県)	11月11日(金)	10号12
18	第64回関東技術サロン講演会「“人の心を動かすモノづくり”「弱いロボット」」(オンライン)		10号12
21～22	「プロセス設計」講座 ハイドロリックの設計 編(千葉県)	11月11日(金)	10号10
24～25	ナノ材料の表面分析講習(大阪府)	11月2日(水)	7号13
24～25	「モデリング技術の基礎と実践」講座(東京都)	11月16日(水)	8号11
25	ソフトマター工学分科会講演会・会員総会(宮城県/オンライン)	11月11日(金)	10号11
25～26	第48回経営セミナー「明日の日本を私が創る ～VUCA時代を牽引せよ!～」幕張セッション(千葉県)		6号12
28～29	超臨界流体部会 2022年度基礎セミナー 「超臨界CO ₂ および亜臨界水・超臨界水の基礎と応用技術」(東京/オンライン)	11月15日(火)	10号11
30	第29回イブニングセミナー 「化学工学分野へのデータサイエンスの活用事例と今後の展開」(オンライン)		10号13
2022年12月 December			
2	マイクロプロセス最前線シリーズ 「マイクロリアクター 現状と今後の展望—講演&見学会—」(兵庫県)	11月18日(金)	本号12
6～8	第3回集まれ 化学工学に触れている学生諸子の会(オンライン)		10号10
9	先端技術を支える単位操作シリーズ「超臨界プロセスの最前線」(大阪府)	12月1日(木)	本号12
10	第8回ケミカルエンジニアリング・カフェ(CE・カフェ)(オンライン)	12月5日(月)	本号10
13～14	粉体技術者養成講座 第4回【集じん】(愛知県)		7号10

16	シンポジウム モビリティの電動化を牽引するエレクトロニクス ～電池・モータ・半導体と環境対応～(東京都/オンライン)	12月9日(金)	10号12
16～17	第39回プラントオペレーションに関する現場監督者セミナー(オンライン)		10号13
17	第13回福島地区CEセミナー(福島県)	12月9日(金)	本号11
19	化学工学会岡山大会2022(岡山県)		10号15
26	「第33回中高教諭とケミカルエンジニア交流のための見学講演会」および 「化学工学会東海支部 第107回講演見学会」合同見学会(愛知県)	11月25日(金)	10号13
2023年1月 January			
12	重合工学レクチャーシリーズNo.9「プラスチックのケミカルリサイクル」(大阪府)	1月6日(金)	本号12
12～13	粉体技術者養成講座 第5回【粉碎】(広島県)		7号10
13	第15回機能性微粒子分科会セミナー(オンライン)	1月6日(金)	本号10
16～17	最近の化学工学講習会71「カーボンニュートラルに貢献する触媒・反応工学」(オンライン)	12月28日(水)	本号11
19	化学工学会 エネルギー部会 第1回エネルギー部会シンポジウム カーボンニュートラル実現に貢献する革新技術の潮流 ～最先端物質変換技術～(東京都)	12月16日(金)	本号10
20	第25回「企業と大学・高専の人材育成懇談会」(福岡県)	11月30日(水)	本号13
26～27	オンライン版「プロセス設計」講座 化工物性・蒸留計算 編(オンライン)	1月20日(金)	本号9
27	化学工学会 材料・界面部会 共通基盤技術シンポジウム2023 ～材料・プロセス開発とその改善における機械学習の役割と今後の展望～(東京都)	12月16日(金)	本号11
30～2/1	「反応器の設計」講座(東京都)	1月20日(金)	本号9
2023年2月 February			
2～3	粉体技術者養成講座 第6回【ろ過】(大阪府)		7号10
2023年3月 March			
4	第25回化学工学会学生発表会(オンライン)	12月9日(金)	本号8
15～17	化学工学会第88年会(東京都)	12月22日(木)	本号7

◇国際交流行事

会 期	行 事 名	申込締切	会告ページ
12月2～4日	33th International Symposium on Chemical Engineering (ISChE) (第33回化学工学に関する国際シンポジウム (ISChE2022))		8号14
2023年8月14～18日	The 17th International Heat Transfer Conference (IHTC-17) (第17回国際伝熱会議) (Cape Town, South Africa)		10号12

◇共 催・協 賛 行 事(本カレンダーのみのご案内です。詳細は各問合せ先へ直接ご照会下さい。「ゴシック」は新規掲載分)

行 事(場 所)	開催期日	問合せ先	電話番号(FAX) E-mail, URL
2022年度化学人材育成プログラム(東京都ほか)	4月1日～ 2023年3月31日 (金～金)	一般社団法人日本 化学工業協会	03-3297-2578 (03-3297-2606) jinzai_ikusei@jcia-net.or.jp https://www.nikkakyo.org/Jinzai_ikuseiProg/index.html
2022年度 技術英語能力検定(技術英検)(東京都ほか)	4月1日～ 2023年3月31日 (金～金)	公益社団法人日本 技術英語協会	03-3434-2350 info@jstc.jp https://jstc.jp/exam/examination/
2022年度計算力学技術者(CAE技術者)資格認定事業 (全国/上級試験はオンライン)	6月22日～ 12月9日(水～金)	一般社団法人日本 機械学会	03-4335-7616 caenintei@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/cee/
IAES-26(神奈川県)	10月31日～ 11月2日(月～水)	一般社団法人日本 非破壊検査協会	03-5609-4015 (03-5609-4061) yasoshima@jsndi.or.jp https://sciences.jsndi.jp/acoustic/

第89回技術セミナー(東京都)	11月1日(火)	公益社団法人腐食防食学会	03-3815-1161 (03-3815-1291) ysm.hng-113-0033@jcorr.or.jp https://www.jcorr.or.jp/yotei/89.html
第17回エレクトロヒートシンポジウム<WEB開催>(オンライン)	11月1~30日(火~水)	一般社団法人日本エレクトロヒートセンター	03-5642-1733 (03-5642-1734) nakatani@jeh-center.org https://www.jeh-center.org/17thEHSympo.html
第74回表面科学基礎講座 ~表面・界面分析の基礎と応用~(オンライン)	11月1~30日(火~水)	日本表面真空学会	03-3812-0266 (03-3812-2897) office@jvss.jp https://www.jvss.jp/jpn/activities/04/detail.php?cid=00014
8th International Conference for Ion Exchange (ICIE2022)(東京都)	11月4~7日(金~月)	日本イオン交換学会	03-3238-3370 icie2022@jaie.gr.jp http://www.jaie.gr.jp/icie2022/index.html
日本学術会議 公開シンポジウム 「日本の社会・産業をリードする化学系博士人材とは ~産学で取り組む博士人材育成と、これから博士を目指す学生への期待~」(東京都/オンライン)	11月5日(土)	日本学術会議化学委員会, 化学委員会 化学企画分科会	03-5286-3320 Chemhakse22.gakujutsu@gmail.com https://www.scej.go.jp/ja/event/2022/327-s-1105.html
第245・246回西山記念技術講座(大阪府/東京都)	11月7~14日(月~月)	日本鉄鋼協会	03-3669-5933 (03-3669-5934) kuriyama@isij.or.jp https://isij.or.jp/event/event2022/nishiyama245.html
日本膜学会「膜シンポジウム2022“膜を学ぶ・膜に学ぶ”」(兵庫県)	11月9~10日(水~木)	日本膜学会	03-3815-2818 (03-3815-2818) membrane@mua.biglobe.ne.jp http://www.maku-jp.org/symposium/
第35回日本吸着学会研究発表会(長野県)	11月10~11日(木~金)	日本吸着学会	03-6824-9370 (03-5227-8631) adsorption-post@bunken.co.jp https://www.j-ad.org/annual-meeting/
第13回マイクロ・ナノ工学シンポジウム(徳島県)	11月14~16日(月~水)	日本機械学会	03-4335-7614 mnm2022@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/conference/mnm2022/
第51回 電気化学講習会 電気化学の基礎と新しいアプローチ (大阪府/オンライン)	11月14~18日(月~金)	電気化学会関西支部	078-803-6187 maki@kobe-u.ac.jp https://kansai.electrochem.jp/koushu.html
第48回腐食防食入門講習会(東京都)	11月15~16日(火~水)	公益社団法人腐食防食学会	03-3815-1161 (03-3815-1291) ysm.hng-113-0033@jcorr.or.jp https://www.jcorr.or.jp/yotei/48.html
The 7th International Conference on the Characterization and Control of Interfaces for High Quality Advanced Materials (ICCCI2022)(山梨県)	11月15~18日(火~金)	粉体工学会	045-339-3959 (045-339-3957) iccci2022@ynu.ac.jp http://ceramics.ynu.ac.jp/iccci2022/
実用表面分析セミナー2022(兵庫県)	11月17日(木)	公益社団法人日本表面真空学会 関西支部	072-781-0081 (072-781-9097) junichi.minato@nsg.com https://www.jvss.jp/chapter/kansai/kansai_jitsuyou23/
日本金属学会オンライン教育講座「金属製錬の熱力学」(オンライン)	11月17~18日(木~金)	日本金属学会	022-223-3685 (022-223-6312) meeting@jim.jp https://jim.or.jp/EVENTS/lecture/group_004.html

2022 合同 WEB 討論会 ～第 46 回電解技術討論会 ーソーダ工業技術討論会ー, 第 42 回水素エネルギー協会大会, 2022 HESS 特別講演会～(オンライン/東京都/大分県)	11 月 17 ～ 30 日 (木～水)	(一社) 水素エネ ルギー協会, (公社) 電気化学会 電解科 学技術委員会	090-7367-3695 2022hess-ecsj@hess.jp https://confit.atlas.jp/hesssecsj2022
第 60 回燃焼シンポジウム(東京都)	11 月 21 ～ 24 日 (月～木)	一般社団法人 日本 燃焼学会	03-5841-6580 sympo60@combustionsociety.jp http://www.combustionsociety.jp/sympo60/
第 38 回ニューメンブレンテクノロジーシンポジウム 2022 (オンライン)	11 月 21 ～ 25 日 (月～金)	一般社団法人日本 膜学会, 一般社団 法人日本能率協会	03-3434-5512 (03-3434-5505) tech-con@jma.or.jp https://school.jma.or.jp/membrane/
第 47 回コロージョン・セミナー(オンライン)	11 月 21 ～ 30 日 (月～水)	公益社団法人腐食 防食学会	03-3815-1161 (03-3815-1291) ysm.hng-113-0033@jcorr.or.jp https://www.jcorr.or.jp/yotei/47.html
腐食防食部門委員会 第 345 回例会(大阪府)	11 月 22 日(火)	日本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimu@office.jsms.jp https://www.jsms.jp/
第 1 回鉄鉱石塊成鉱に関する国際シンポジウム/ 英語名: The 1st International Symposium on Iron Ore Agglomerates(SynOre2022)(島根県)	11 月 22 ～ 25 日 (火～金)	一般社団法人日本 鉄鋼協会	03-6369-9995 (03-3453-1258) y-amano@issjp.com https://synore2022.com/
シンポジウム「リサイクル設計と分離精製技術」 第 40 回: 乾式分離精製のための粉体工学研究の最前線 (オンライン)	11 月 24 日(木)	一般社団法人環境 資源工学会	03-6459-2203 (03-3403-1776) info@rpsj.org https://www.rpsj.org/
第 43 回ドライプロセス国際シンポジウム(DPS2022) (大阪府)	11 月 24 ～ 25 日 (木～金)	第 43 回ドライプロ セス国際シンポジ ウム組織委員会	070-5268-6664 dps2022@officepolaris.co.jp http://www.dry-process.org/2022/
第 41 回溶媒抽出討論会(東京都)	11 月 24 ～ 25 日 (木～金)	日本溶媒抽出学会	03-5734-3845 takeshita.k.ab@m.titech.ac.jp http://www.solventextraction.gr.jp/symposium/
第 12 回イオン液体討論会(東京都)	11 月 24 ～ 25 日 (木～金)	イオン液体研究会	070-5658-7626 ioniquid@officepolaris.co.jp https://www.ilra.jp/
女子大学院生・ポスドクのための産総研所内紹介と在職 女性研究者との懇談会 Female Graduate Students Laboratory Tours and Round Table Talk with Women Researchers in AIST (オンライン)	11 月 24 ～ 25 日 (木～金)	国立研究開発法人 産業技術総合研究 所 イノベーション 人材部 ダイ バーシティ推進室	029-862-6419 diversity-event-office-ml@aist.go.jp https://www.aist.go.jp/aist_j/information/diversity/ivent_new/index.html (準備中)
海水資源・環境セミナー 2022(千葉県)	11 月 25 日(金)	日本海水学会 海水 資源・環境研究会	0465-47-3161 (0465-48-6242) shigen@swsj.org https://www.swsj.org/research/folder39/kaisuishigenn-seminar2022.html
日本コンピュータ化学会 2022 年秋季年会(長野県)	11 月 25 ～ 27 日 (金～日)	日本コンピュ ータ化学会	0268-21-5458 (0268-21-5391) osadam@shinshu-u.ac.jp https://sites.google.com/view/sccj2022autumn/
第 30 回秋季大会(京都府)	11 月 28 ～ 29 日 (月～火)	プラスチック成形 加工学会	03-5436-3822 (03-3779-9698) plakakou@sand.ocn.ne.jp https://www.jspp.or.jp/
SCIS & ISIS2022(三重県)	11 月 29 日～ 12 月 2 日(火～金)	日本知能情報ファ ジィ学会	0948-24-3355 (0948-24-3356) scisis2022+info@gmail.com http://scis.j-soft.org/2022/

第18回バイオマス科学会議(群馬県)	11月30日～ 12月1日(水～木)	一般社団法人日本 エネルギー学会	03-3834-6456 (03-3834-6458) tsunasawa_jie1921@jie.or.jp https://www.jie.or.jp/publics/index/869/
技術セミナー「エネルギー貯槽技術の最新動向」 (オンライン)	12月1日(木)	(一社)日本高圧力 技術協会	03-3516-2270 tanaka@hpij.org https://www.hpij.org/plugin/databases/detail/19/43/1#frame-43
第38回ゼロライト研究発表会(徳島県)	12月1～2日 (木～金)	一般社団法人日本 ゼロライト学会	088-656-7429 (088-656-7429) kato@tokushima-u.ac.jp https://jza-online.org/events/
第55回安全工学研究発表会(鳥取県)	12月1～2日 (木～金)	特定非営利活動法 人 安全工学会	03-6206-2840 (03-6206-2848) jsse-2004@nifty.com https://www.jsse.or.jp/Events/datebase/form_ab_gy6m8t43
第20回評価・診断に関するシンポジウム(大阪府)	12月1～2日 (木～金)	日本機械学会	03-4335-7616 kaneko@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/event/22-110/
エコデザイン・プロダクツ&サービスシンポジウム2022 (大阪府)	12月1～2日 (木～金)	エコデザイン学会 連合	080-1315-3632 secretariat@ecodenet.com https://ecodenet.com/EcoDePS2022
第34回環境システム計測制御学会(EICA)研究発表会 (神奈川県)	12月1～2日 (木～金)	環境システム計測 制御学会(EICA)	072-807-3890 (072-807-3898) info@eica.jp http://eica.jp/34th/index.php
第181回講演会(オンライン)	12月2日(金)	プラスチック成形 加工学会	03-5436-3822 (03-3779-9698) plakakou@sand.ocn.ne.jp https://www.jspp.or.jp
第42回レオロジー講座－基礎と測定法－(京都府)	12月5～6日 (月～火)	日本レオロジー学 会	075-315-8687 (075-315-8688) office@srj.or.jp http://www.srj.or.jp/gyoji
第36回分子シミュレーション討論会(東京都)	12月5～7日 (月～水)	分子シミュレー ション学会	03-5734-3373 (03-5734-3372) akitao@bio.titech.ac.jp https://sympo.mol-sim.jp/mssj36/
日本金属学会オンライン教育講座 「金属材料の耐環境性(1)水溶液腐食の基礎 －平衡論・速度論」(オンライン)	12月5～12日 (月～月)	日本金属学会	022-223-3685 (022-223-6312) meeting@jim.jp https://jim.or.jp/EVENTS/lecture/group_005.html
メンテナンス・レジリエンス OSAKA 2022(大阪府)	12月7～9日 (水～金)	一般社団法人日本 能率協会	03-3434-1988 (03-3434-8079) mente@jma.or.jp https://www.jma.or.jp/mente/osaka/
国際粉体工業展東京2022(東京都/オンライン)	12月7～9日 (水～金) (オンライン会期: 11月21日～2023年 1月27日(月～金))	一般社団法人日本 粉体工業技術協会	03-5297-8855 (03-5294-0909) info2022@powtex.com https://www.powtex.com/tokyo/
第49回炭素材料学会年会(兵庫県)	12月7～9日 (水～金)	炭素材料学会	(03-5227-8632) tanso-desk@conf.bunken.co.jp http://www.tanso.org/contents/event/conf2022/index.html (予定)
Salt & Seawater Science Seminar 2022(オンライン)	12月8日(木)	公益財団法人塩事 業センター海水総 合研究所	0465-47-3161 (0465-48-6242) kouenkai@shiojigyo.or.jp https://www.shiojigyo.com/institute/event/ssss/

Grand Renewable Energy 2022 International Conference (オンライン)	12月13～20日 (火～火)	Grand RE2022 国際会議 組織委員会	090-7178-0029 (03-5294-0909) iked071@s7.dion.ne.jp https://www.grand-re2022.org
技術セミナー 「高圧水素基礎講座－安全な機器運用のために－」 (オンライン)	12月14日(水)	(一社) 日本高圧力技術協会	03-3516-2270 tanaka@hpij.org https://www.hpij.org/plugin/databases/detail/19/43/3#frame-43
第36回数値流体力学シンポジウム(オンライン)	12月14～16日 (水～金)	一般社団法人 日本流体力学学会	03-3714-0427 (03-3714-0434) cfd36@nagare.or.jp https://www2.nagare.or.jp/cfd/cfd36/
第6回ゼロライトセミナー(鳥取県及びオンライン)	12月16日(金)	一般社団法人日本ゼロライト学会	0857-31-5684 (0857-31-5684) katada@tottori-u.ac.jp http://katalab.org/6ZeoliteSeminar/
第35回自律分散システム・シンポジウム(大阪府)	2023年1月22～23日(日～月)	計測自動制御学会システム・情報部門	03-3292-0314 (03-3292-3145) bumon@sice.or.jp https://sites.google.com/sice-das.org/das35th/
第39回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス(東京都)	2023年1月26～27日(木～金)	一般社団法人エネルギー・資源学会	06-6446-0537 (06-6446-0559) okabe@jser.gr.jp https://www.jser.gr.jp/
第15回先進プラズマ科学と窒化物及びナノ材料への応用に関する国際シンポジウム/第16回プラズマナノ科学技術国際会議(ISPlasma2023/IC-PLANTS2023)(岐阜県)	2023年3月5～9日(日～木)	公益社団法人 応用物理学会	052-581-3241 (052-581-5585) isplasma2023@intergroup.co.jp http://www.isplasma.jp/
混相流国際会議2023(兵庫県)	2023年4月2～7日(日～金)	日本混相流学会	06-6466-1588 (06-6463-2522) office@jsmf.gr.jp http://www.jsmf.gr.jp/icmf2022
第60回アイソトープ・放射線研究発表会(東京都)	2023年7月5～7日(水～金)	日本アイソトープ協会	03-5395-8081 (03-5395-8053) happyokai@jrias.or.jp https://www.jrias.or.jp/seminar/cat11/
IFAC World Congress 2023(神奈川県)	2023年7月9～14日(日～金)	一般社団法人 自動制御協議会/日本学術会議(IFAC JAPAN NMO) ※申請中	045-221-2155 ifac2023@congre.co.jp https://www.ifac2023.org/

第88年会 冠シンポジウム・ランチョン・イブニングセミナー募集

第88年会概要

会期 2023年3月15日(水)～3月17日(金)
 会場 東京農工大学小金井キャンパス (〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16)
 (口頭セッションはオンライン参加も可能とする予定)
 見込み参加者 1,800名以上
 内容 研究講演・シンポジウム等
 参加対象 化学工学を中心とした化学系学科の教員・学生、化学系および関連会社の研究者・技術者
 URL <http://www3.scej.org/meeting/88a/>

SCEJ冠シンポジウム

各企業の化学工学に関連・連携する技術や将来ビジョンを発表いただく機会として、個別企業の名前でセッションを開く、企業冠シンポジウムを実施いただけます。本大会はオンライン開催(口頭セッションは双方向ライブ配信併用)

で計画しており、現地会場・オンラインのいずれからでもご参加可能です。ライブ配信機材および操作係は本大会でご準備致します。なお、ご希望により、本大会参加登録者以外も当該シンポジウムに限り参加可能としていただくこともできます。

企業が学会員に知って欲しい技術や将来ビジョンなどに関する2時間から半日程度のシンポジウムとし、シンポジウム内容およびオーガナイザー、講演者は、応募企業で自由に選定いただけます。化学工学会年会のシンポジウムとしての実施であり、自社からの講師だけでなく、内容に関連する学や官からの講師も合わせ、シンポジウムを運営いただければ幸いです。

申込締切 2022年12月31日(土)

SCEJランチョン・イブニングセミナー

大会期間中の昼休み・夕方を利用してSCEJランチョン・イブニングセミナーを実施いただけ

ます。本大会はオンライン開催(口頭セッションは双方向ライブ配信併用)で計画しており、現地会場・オンラインのいずれからでもご参加可能です。ライブ配信機材および操作係は本大会でご準備致します。なお、ご希望により、本大会参加登録者以外も当該セミナーに限り参加可能としていただくこともできます。

申込締切 2023年1月31日(火)

いずれも申込方法など詳細は大会Webサイトをご覧ください。

問合せ先

化学工学会第88年会実行委員会
 E-mail: inquiry-88a@www3.scej.org

第88年会 広告・プロモーションビデオ・コマーシャル放映・展示募集

第88年会概要

会期 2023年3月15日(水)～3月17日(金)
 会場 東京農工大学小金井キャンパス (〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16)
 (口頭セッションはオンライン参加も可能とする予定)
 見込み参加者 1,800名以上
 内容 研究講演・シンポジウム等
 参加対象 化学工学を中心とした化学系学科の教員・学生、化学系および関連会社の研究者・技術者
 URL <http://www3.scej.org/meeting/88a/>

Webバナー広告掲載

媒体 化学工学会第88年会Webサイト (<http://www3.scej.org/meeting/88a/>) 並びに、オンライン学会サイト (https://goingvirtual.scej.org/web_conf)
 バナーサイズ 2種類のサイズを設定します。
 大: 左右240×天地92ピクセル (以下)、小: 左右150×天地38ピクセル (以下)
 ファイル形式 GIF、PNGまたはJPEG
 リンク設定 掲載のバナー広告から貴社へのリンクを設定します。
 掲載期間 第88年会Webサイト: 申込受付後、第88年会Webサイト公開終了まで(大会終了後もしばらく公開を続けます; 公開終了は化学工学会にて決定します)
 オンライン学会サイト: 会期中のみ
 申込およびファイル送付期限 2023年2月28日(火) (スペースに限りがありますのでお早めにお申込み願います)

○Webバナー広告料金[税別]*1*2

	バナー(大)	バナー(小)
化学工学会会員 (原則として法人会員に限りです)	60,000円	30,000円
化学工学会会員外 (原則として法人に限りです)	120,000円	60,000円

- *1 1枠あたりの料金です。
- *2 広告主様にて掲載用画像ファイルを作成いただく場合の料金です。それ以外の場合は別料金が発生する場合がありますので、別途お問い合わせください。

プログラム集広告・オンライン学会サイト広告

プログラム集広告(オンライン学会サイトにも掲載)、およびオンライン学会サイトへの広告掲載を募集します。詳細は大会Webサイトまたは12号会告をご覧ください。
 プログラム集広告
 申込期限 2023年1月31日(火)
 原稿送付期限 2023年2月7日(火)必着
 オンライン学会サイト広告
 申込および原稿送付期限 2023年2月28日(火)

プロモーションビデオ掲載・コマーシャル放映

オンライン学会サイトへのプロモーションビデオ掲載(広告あるいはWebバナー広告掲載申込団体のみ)と、セッション会場でのコマーシャル放映(原則としてプロモーションビデオ申込団体のみ)を募集します。詳細は大会Webサイトまたは12号会告をご覧ください。

いずれも申込およびファイル送付期限 2023年2月28日(火)

○プロモーションビデオ(広告あるいはWebバナー広告掲載申込団体のみ)
 媒体 オンライン学会サイト (https://goingvirtual.scej.org/web_conf)
 掲載期間 会期中、常に閲覧可能
 ファイル様式 MP4、MOV、WMV、AVI、FLV。
 原則200MB以内。時間制限なし。詳細はお問い合わせください。

○コマーシャル放映(原則としてプロモーションビデオ申込団体のみ)
 媒体 オンライン学会サイト (https://goingvirtual.scej.org/web_conf)
 希望するセッション2つ(追加可能)の開始前、休憩時間などに放映。
 ファイル形式 MP4、MOV、WMV、AVI、FLV。
 原則50MB、1分以内。詳細はお問い合わせください。
 申込およびファイル送付期限 2023年2月28日(火) (セッション希望は先着順のためお早めにお申込み願います)

ニューテックセッション(付設展示)

大会会場(東京農工大学小金井キャンパス)内にて付設展示・カタログ展示を実施予定です。詳細は大会Webサイトまたは12号会告をご覧ください。
 申込期限 2023年1月31日(火)

申込方法

大会Webサイトのフォームよりお申込みください。

広告料金支払方法

口座振込にてお支払いいただきます。振込口座等は申込受付後に実行委員会よりお知らせ致します。

注意事項

■掲載の取消し

掲載申込の受付後は、本会が不可抗力と認め

たもの以外の掲載取消しはできません。したがって、広告料金の返却は致しません。原稿送付期限に遅れて送付された原稿は掲載できません。この場合、本会が不可抗力と認められたもの以外の広告料金は返却致しません。掲載申込の受付後でも掲載内容に問題があると本会が判断した場合には掲載をお断りすることがあります。この場合、広告料金は返却します。

問合せ先

化学工学会第88年会実行委員会
E-mail : inquiry-88a@www3.scej.org

第25回化学工学会学生発表会 要項

第25回大会は、どの地域からでも参加が容易な、オンラインにて開催いたします。前回の発表者のアンケートでほとんどの方から良い体験であったと評価いただいています。奮って発表および参加くださいますよう、お願い申し上げます。

発表申込期限：2022年12月9日(金)17:00

要旨提出期限：2023年2月3日(金)17:00

事前参加登録期限：2023年2月10日(金)17:00

開催日：2023年3月4日(土)

主催 公益社団法人化学工学会
共催 同 北海道支部、東北支部、関東支部、東海支部、関西支部、中国四国支部、九州支部、人材育成センター

若者の理科への興味を引き出し伸ばし、有能な研究者あるいは技術者を育成するには、暗記に頼らず、若い年齢から自然観察、実験、自前の考察をもとに他人と話し合う教育が必要です。高校生、高専生および大学生が、研究成果の発表と関連な討論を行うことにより、研究者あるいは技術者として堅実に成長する機会を提供することを目的とします。

日時 2023年3月4日(土)9:00～(開始時間は変更の可能性があります。)

会場 遠隔会議システムを用いたオンラインによるバーチャル会場

発表形式 口頭発表(詳細は大会ホームページをご参照ください。ポスター発表はありません。)

発表時間 12分(発表7分、討論4分、交代1分)

応募資格 原則、発表者または連名者のうち少なくとも1名は化学工学会の会員であること。ただし高校生の発表では、発表者および連名者の生徒・高校教員の会員有資格は問いません。なお、その他の方の発表でも会の趣旨に合致すると判断される場合には発表を認めることがありますので、発表申込み前に実行委員会にE-mailでお問合せください。

発表者(登壇者) 大学生(1～4年生)、高専生(本

科生、専攻科生)、高校生。

ただし、登壇予定者が当日都合により欠席の場合、連名者に代行していただきます。

内容 化学工学、エネルギー、資源・環境、生物、その他(物理化学、有機化学、無機化学、材料、計算化学、教育など)

特別講演 「演題未定」、決まり次第、大会ホームページに掲載します。

COVID-19への対応

今回はオンラインによる開催の予定です。遠隔会議システムを通して発表・聴講をしていただきます。よって、COVID-19への対応は各参加者の在所自治体および学校の指示に従ってください。なお、COVID-19の今後の状況によっては内容変更や中止の可能性があります。あらかじめご了承ください。

オンライン開催に関する注意事項

全ての発表をインターネット配信します。オンライン参加者は遠隔会議システムの環境準備(カメラ、マイク；PC付属のものでも可；ヘッドセットマイクが望ましい)が必要になります。また、発表内容は自動公衆送信による再送信とみなされますので、他人(共同研究先を含みます)の著作物が含まれる場合、発表者の責任でそのことを含めた許諾を得る必要があります。なお、一切の録音・録画・撮影を禁じます。

発表申込 大会ホームページからお申込みください。発表者(連名)全員の事前了解を必ず得てください。申込みの際にこれに該当する

チェック項目がありますので、ご注意ください。なお、発表申込とは別に参加登録申込が必要で

発表申込締切 2022年12月9日(金)17:00まで(厳守願います。)

要旨 A4版2段組1枚(詳細は大会ホームページ等をご参照ください。)

要旨締切 2023年2月3日(金)17:00必着

早期参加登録 大会ホームページからお申込みください。参加登録費がたいへん割安ですので、是非ご利用ください。

申込締切2023年2月10日(金)17:00まで
参加登録費 一般 早期 3,000円(通常 6,000円)、
大学生 早期 1,000円(通常 4,000円)、高専生(4年生以降) 早期 1,000円(通常 3,000円)、高校生および高専生(1～3年生) 無料、高校生引率者 1,000円

表彰 優秀者を表彰致します。原則全員審査対象となります。辞退する場合は発表申込時にお申出ください。

問合せ・申込み先

第25回化学工学会学生発表会実行委員会
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19
公益社団法人化学工学会 人材育成センター「学生発表会」係
E-mail : inquiry-stu25@www3.scej.org
ホームページ : <http://www3.scej.org/meeting/stu25/>

人材育成センター

オンライン版「プロセス設計」講座 化工物性、蒸留計算 編(第4回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

日時 2023年1月26日(木)、27日(金)

対象 以下の何れかに該当される方

- ・化工物性、蒸留計算の基本を学びたい方
- ・シミュレータの蒸留計算の原理を知りたい方
- ・化学・石油精製プラントなどに関連のあるエンジニア(2~10年程度の経験者)
- ・「プロセス設計」講座 各編 修了者/受講予定者

講習目標

本講座では、物性及び物性推算について理解を深めた後、蒸留の基本である気液平衡について学び、理想系、非理想系の気液平衡計算の手法を、演習を通して理解していただきます。そして、2成分系、多成分系、特殊な蒸留など蒸留塔の設計に必要な蒸留計算について、演習問題を手計算で解きながら学んでいただきます。

受講のメリット

- (1) プロセス設計に使用する化工物性を理解できます。
- (2) 気液平衡について基礎、非理想系の気液平衡、これらの推算式を理解できます。
- (3) 2成分系の蒸留計算、多成分系の蒸留計算の原理を理解できるようになります。
- (4) 本講座では事前アンケート及びオリエンテーション(1月20日)を実施し、受講者の経験や受講目的などを把握し、講義の参考と致します。
- (5) 修了レポートにより、理解度を更に深められます。

講座内容

本講座は、Microsoft Teams を利用したオンラインで、目安として、講義60分につき休憩を10分程度のペースで開催致します。

オンライン開催になりますが、一方通行にならないような工夫を凝らして講義してゆく予定です。

なお、以下 URL に記した注意事項にご同意いただけない場合は、ご参加をお断りさせていただきます。 https://scej.kkctcs.co.jp/jinzai/seminar/seminar_SCEJ_jinzai_ONLINE.pdf

オリエンテーション：1月20日(金)13:10~30分程度(最大でも14:00)

接続負荷のチェックを兼ねて実施します。講義当日と同じパソコン・通信環境(カメラ付PC必須)で参加下さい。

※受講の際にはExcel(ゴールシーク、ソルバー機能)を使えるパソコンで受講して下さい。

第1日：1月26日(木)9:30~17:10

1. プロセス設計と物性値
2. 気液平衡

第2日：1月27日(金)9:30~17:10

3. 2成分系の蒸留計算
4. 多成分系の蒸留と特殊な蒸留

講師 経験豊富なエンジニア

澤井直明氏(日揮グローバル(株)エンジニアリングソリューションズセンター プロセスエンジニアリング部)

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与

致します。(詳細は4号会告7ページ参照)

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方には20 pt を授与致します。また、修了証を授与された方には更に10 pt を加算致します。(詳細は4号会告7ページ参照)

募集定員 10名(定員になり次第締切)6名に達しない場合は、開催中止となる場合がございます。

受付締切 1月20日(金)9:00

受講料(消費税10%込)

個人正会員(技工基礎割*)	22,000円(本体20,000円)
個人正会員	44,000円(本体40,000円)
維持会員/特別会員の社員	55,000円(本体50,000円)
地区会員の社員	66,000円(本体60,000円)
会員外	77,000円(本体70,000円)

*技工基礎割は、以下の条件を満たす方が対象となります。

1. 化学工学技士(基礎)資格に関する手続きを完了していること。
2. 正会員であること。(事前に自らの会員情報を確認、更新して下さい)
3. 卒業または修了後5年以内の社会人であること。

申込方法 化学工学会ホームページ右上の“各種申込”の“講習会申込”と巡っていただくか、下記 URL をブラウザに直接入力していただき、該当する講座を選択してお申込み下さい。

<https://service.kkctcs.co.jp/smm2/c/scej/event/EventList.htm>

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会 人材育成センター「継続教育」事務局
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19
E-mail: jinzai-seminar@atmark.scej.org
TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

「反応器の設計」講座(第36回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

日時 2023年1月30日(月)~2月1日(水)

場所 化学工学会会議室(東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅【東京駅より11分】下車徒歩1分)

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策 化学工学会会議室で実施する場合には、ソーシャルディスタンスの確保やマスクの着用と体温測定など、以下 URL に記した新型コロナウイルス感染症対策を行い、開催致します。記載内容にご同意いただけない場合は、ご参加をお断りさせていただきます。 https://scej.kkctcs.co.jp/jinzai/seminar/seminar_07_COVID19_2206.pdf

対象 以下の何れかに該当される方

- ・化学反応を扱う研究者・技術者
 - ・パイロットプラントの設計を行う技術者
 - ・プロセス設計技術者(2~5年程度の経験者)
- いずれも、Excelのゴールシーク、ソルバー機能の知見があること(知見無い方は予習要)

講習目標 気相反応器、液相反応器、流動層反応器の設計、および反応器のスケールアップを行うための基礎知識を習得することを目標とします。特に、反応器周りの熱/物質収支について基本的な考え方を講義し、実験室ア

タから実装置のプロセス設計ができるように、基礎を学んでいただきます。

受講のメリット

- (1) 既知の熱力学データを基に、気体反応の熱/物質収支を計算できるようになります
- (2) 実験室データからのスケールアップの考え方を習得でき、液相反応器の実装置の設計に役立つ知識を得られます。
- (3) 本講座では事前アンケートを実施し、受講者の経験や受講目的などを把握し、講義の参考と致します。
- (4) 修了レポートにより、理解度を更に深められます。
- (5) 最新の流動層反応器の知識を得られます。
- (6) 演習で使ったexcelファイルはお持ち帰りできます。

講座内容

第1日：1月30日(月) 兵藤氏

諸連絡(9:55~10:00)

1. 反応器概論(10:00~12:30)
2. 気体反応器-反応器廻りの熱収支・物質収支計算-(13:15~17:45)

第2日：1月31日(火) 寺井氏

3. 液相反応器の設計(9:30~16:30)

第3日：2月1日(水) 渡辺氏

4. 流動層反応器の設計(9:30~12:30)

※演習用PCは当会でご準備致します。

※なお、本講座の演習では、Excelのゴールシーク、ソルバー機能を使います。

ゴールシーク、ソルバー機能を使った経験がない方は、本会「化学工学」誌に連載された「Excelで気軽に化学工学」第1回(2004年7月号 pp.382-386)や「Excelで解く化学工学10大モデル」(2014年11月号~2016年1号)、あるいは、「Excelで気軽に化学工学」(化学工学会編・丸善刊)等で予習してください。個人会員の方であれば、電子図書館で「化学工学」誌を閲覧することができます。講師 経験豊富なエンジニア陣

兵藤伸二氏(千代田化工建設(株)技術本部 石油・化学・新エネルギープロセス設計部、首席化学工学技士)

寺井 聡氏(東洋エンジニアリング(株)エンジニアリング・技術統括本部)

渡辺康広氏(千代田化工建設(株)技術本部 石油・化学・新エネルギープロセス設計部)

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。(詳細は4号会告7ページ参照)

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方には30 pt を授与致します。また、修了証を授与された方には更に15 pt を加算致します。(詳細は4号会告7ページ参照)

募集定員 12名(定員になり次第締切)6名に達しない場合は、開催中止となる場合がございます。

受付締切 1月20日(金)

受講料(消費税10%込)

個人正会員(技工基礎割*)	33,000円(本体30,000円)
個人正会員	60,500円(本体55,000円)
維持会員/特別会員の社員	74,250円(本体67,500円)
地区会員の社員	88,000円(本体80,000円)
会員外	101,750円(本体92,500円)

*技工基礎割は、以下の条件を満たす方が対象となります。

1. 化学工学技士(基礎)資格に関する手続きを

完了していること。

- 正会員であること。(事前に自らの会員情報を確認、更新して下さい)
- 卒業または修了後5年以内の社会人であること。

申込方法 化学工学会ホームページ右上の“各種申込”の“講習会申込”と巡っていただくか、下

記URLをブラウザに直接入力していただき、該当する講座を選択してお申込み下さい。
<https://service.kktcs.co.jp/smms2/c/scej/event/EventList.htm>

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会 人材育成センター
「継続教育」事務局

〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19
E-mail: jinzai-seminar@attomark.scej.org
TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

産学官連携センター

第8回ケミカルエンジニアリング・カフェ(CE・カフェ)開催の案内

主催 化学工学会SCE・Net, 化学工学会関東支部学生会

このCE・カフェは化学工学を学ぶ学生とシニアエンジニアとの交流の場です。企業の技術開発や設計を担ってきたシニアエンジニアが、それぞれの業務過程で、遭遇した困難に、どのように向き合い、そして乗り越えたか、経験と見識を語ると共に、また、学生にとっては、日頃感じている疑問や不安を問いかけ、シニアと対

話することにより、化学工学を学ぶ意義を確かめ、入社後の仕事に取り組む姿勢のイメージを掴む機会となります。学生諸君のご参加をお待ちしています。

日時 2022年12月10日(土)13:30～17:00
開催方法 オンラインミーティング(Zoom)

プログラム

シニアエンジニアと学生会が講演を行った後、小グループでの座談会を行います。
13:40～15:30 シニアの講演と座談会(1)
15:40～16:40 学生の講演と座談会(2)

参加費 無料
定員 約30名

申込方法

【学生参加者】名前、大学(大学院)、学部学科(専攻)を以下のフォームからお送り下さい。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSe993yJekOjQwiiTTJcbmOk_Ho59ra8vivywNwbwFQfCnTIGHQ/viewform

申込締切 2022年12月5日



部 会 C T

第15回機能性微粒子分科会 セミナー

主催 機能性微粒子分科会
共催 化学工学会 材料・界面部会

日時 2023年1月13日(金)13:00～17:00
形式 オンライン(Zoom)

化学工学会 材料・界面部会 機能性微粒子分科会では、これまでに14回のセミナーを開催し、種々分野の研究者や技術者に当該分野の情報交換の場を提供してきました。機能性微粒子等に関心のある方、これから研究開発を試みようとしている方などが気楽に参加して、情報交換を行うことが本会の目的です。前回と同様に今回もオンライン(Zoom)での開催を計画しています。是非ご参加ください。

プログラム

12:00～ Zoom接続
13:00～13:05 開会挨拶
13:05～14:00 「感温性起泡剤や昇温型ゲル化剤として働くPNIPAMコポリマーナノゲル」
佐賀大学 森貞真太郎氏
14:00～14:55 「蓄電デバイスの高性能化に向けた機能性微粒子の製造技術」
東京工業大学 谷口 泉氏

休憩(10分)

15:05～16:00 「表面修飾ナノ粒子の分散凝集・構造形成に関する数値シミュレーション」
東北大学 久保正樹氏
16:00～16:55 「液相分散系におけるリン酸カルシウムの形成について」
新潟大学 木村勇雄氏
16:55～17:00 閉会挨拶

参加費 無料

申込み締切 2023年1月6日(金)17:00
申込み先 以下のURLからお申し込みください。
<https://sites.google.com/view/functionalparticleseminar2023>
問い合わせ先
機能性微粒子分科会代表 武井孝行
E-mail: takei@cen.kagoshima-u.ac.jp
TEL&FAX: 099-285-3283

化学工学会 エネルギー部会 第1回エネルギー部会シンポジウム カーボンニュートラル実現に 貢献する革新技術の潮流 ～最先端物質変換技術～

主催 化学工学会 エネルギー部会
日時 2023年1月19日(木)9:30～17:30(開場9:00)
会場 東京大学 武田先端知ビル 武田ホール(オンライン併用開催)
東京メトロ千代田線「根津駅」徒歩5分
東京メトロ南北線「東大前駅」徒歩10分
案内図 https://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_16_j.html

地球温暖化の解決に向けてカーボンニュートラルの実現が望まれています。そして、その実現に貢献する革新技術として各種物質変換技術が注目されています。本シンポジウムではこれから技術に関する動向と、今後の展望に関して情報共有し、総合的に議論する会として開催いたします。奮って、お申込みいただきますようお願いを申し上げます。

プログラム

9:30～9:40 開会の挨拶

エネルギー部会長 群馬大学 中川紳好氏
9:40～10:00 全体紹介
九州大学 井上 元氏
10:00～10:50 「脱炭素社会に向けた水電解および膜電解を応用した電解水素化」
横浜国立大学 光島重徳氏
10:50～11:40 「水素製造用電極触媒の結晶構造からの設計戦略-実験, 計算化学, データ科学の活用」
東京工業大学 菅原勇貴氏
＜休憩 11:40～13:00＞
13:00～13:50 「電気化学によるCO₂回収・資源化プロセス:カーボンニュートラル達成の切り札となるか?」

東京大学 杉山正和氏
13:50～14:40 「人工光合成技術をベースにした高スループット型CO₂電解装置の開発」
東芝エネルギーシステムズ(株) 水口浩司氏
＜休憩 14:40～15:00＞
15:00～15:50 「カーボンニュートラルを支える固体イオニクス-燃料電池, エネルギーキャリア, カーボンリサイクル-」
東京工業大学 大友順一郎氏
15:50～16:40 「強い金属・担体相互作用による活性起源の解明とサイバー触媒科学への展望」
信州大学 古山通久氏
16:40～17:30 「再エネ+水電解+H₂キャリア+燃料電池=スマートネットワークの実現に向けて」
三重大学 西村 顕氏

参加費 正会員・協賛学会員 7,000円, 非会員 12,000円, 学生・エネルギー部会賛助会員 無料

申込締切日 2022年12月16日(金)

申込方法・問い合わせ先

下記参加登録ホームページからお申込みください。

<https://scej.sakura.ne.jp/Symposium2023/Form/>

登録ページにて、氏名、所属、連絡先(E-mail, TEL)および参加形態(対面、オンライン)を登録し、参加費をお支払いください(支払方法もホームページに掲載)。

E-mail : energy@ml.gunma-u.ac.jp



化学工学会 材料・界面部会 共通基盤技術シンポジウム2023 ～材料・プロセス開発とその改善 における機械学習の役割と 今後の展望～

主催 化学工学会 材料・界面部会

日時 2023年1月27日(金) 8:55～17:30(開場8:30)

会場 東京大学 武田先端知ビル 武田ホール(オンライン併用開催)
東京メトロ千代田線「根津駅」徒歩5分
東京メトロ南北線「東大前駅」徒歩10分
案内図 https://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_16_j.html

材料・界面部会では各種材料プロセスを横断するような共通課題(基盤技術)について議論す

る場を、継続的に提供しています。その議論の中から、各研究・技術における共通性を見出し、学会と産業界との連携を図り、基盤技術の体系化を図ることを目指しています。今年度は、材料・プロセス開発とその改善における機械学習の活用を中心に上げます。材料創製における基礎現象からデバイス化、プロセス化の中での機械学習の貢献と今後の展望について俯瞰的に捉え、広い分野に共通する基盤技術について議論をします。奮って、お申し込みいただきますようお願いを申し上げます。

プログラム

- 8:55～9:00 開会の挨拶
材料・界面部会長 九州工業大学 山村方人氏
- 9:00～9:40 「マテリアルズ・インフォマティクスによる熱機能材料の開発」
東京大学 塩見淳一郎氏
- 9:50～10:30 「機械学習を用いた粉体物性予測システムの開発」
岐阜薬科大学 田原耕平氏
- 10:40～11:20 「データ駆動が導く材料研究・開発・生産のパラダイム変革」
奈良先端科学技術大学院大学 船津公人氏
- 11:30～12:10 「自律実験を用いた粉体成膜プロセスインフォマティクス～ベイズ最適化を用いた粉体乾燥プロセス探索の事例～」
東京大学 長藤圭介氏
- <休憩 12:10～13:30>
- 13:30～14:10 「人×AIによる材料開発の「深化」と「探索」への挑戦」
横浜ゴム(株) 小石正隆氏
- 14:20～15:00 「溶液成長法による大口径SiC溶

- 液成長におけるデータサイエンスの活用」
名古屋大学 宇治原徹氏
- 15:10～15:50 「深層学習の複雑材料・プロセス開発への適用」
産業技術総合研究所 室賀 駿氏
- 16:00～16:40 「ディープラーニングを活用した熱交換器管端溶接部におけるきず有無判定システム」
日立造船(株) 和田貴裕氏
- 16:50～17:30 総合討論

懇親会(対面参加者のみ 17:45～19:15) 場所：未定

懇親会の参加費は別途申し受けます。コロナの状況により懇親会を行わないことがあります。

参加費 正会員 13,000円、非会員 20,000円、学生無料

申込締切日 2022年12月16日(金)

(申込受付開始予定 2022年11月16日(水))

申込方法・問い合わせ先

材料・界面部会のホームページから参加申し込みページにアクセスください。

<https://www.scej-dmi.org/index.html>

申し込み受付開始以降に公開する登録ページにて、氏名、所属、連絡先(E-mail, TEL, FAX)および参加形態(対面、オンライン)、懇親会参加の有無を登録し、参加費をお支払いください(支払方法もホームページに掲載します)。

化学工学会 材料・界面部会事務局

E-mail : scej-dmi@m2.tuat.ac.jp

地域 C T

東北支部

第13回 福島地区CEセミナー

主催 福島化学工学懇話会
協賛 化学工学会東北支部

日時 2022年12月17日(土)
場所 福島県郡山市内(予定)

プログラム(予定)

- 10:30～12:00 ポスター発表
12:00～13:00 休憩(昼食)
13:00～15:00 口頭発表
15:10～16:30 依頼講演(計画中)

セミナー参加費 無料

ポスター発表・口頭発表申込み期限 12月2日(金)

講演要旨原稿締切 12月9日(金)

参加申込み期限 12月9日(金)

発表申込み・問い合わせ先

福島工業高等専門学校 化学・バイオ工学科
青木寿博(懇話会事務局)

E-mail : aoki@fukushima-nct.ac.jp

TEL : 0246-46-0819(直通)

関東支部

最近の化学工学講習会71 「カーボンニュートラルに 貢献する触媒・反応工学」

主催 (公社)化学工学会関東支部

共催 化学工学会反応工学会部会

協賛 化学工学会 反応工学会部会 触媒反応工学分科会, 化学工学会 エネルギー部会, 化学工学会 分離プロセス部会, 化学工学会 環境部会, 触媒学会, 石油学会, 分離技術会, 日本エネルギー学会, 日本化学会, ゼオライト学会, 水素エネルギー協会, 日本ガス協会, 触媒工業協会, 新化学技術推進協会, 石油化学工業協会, 有機合成化学協会, 他(交渉中の団体を含みます)

化学工学会関東支部では、最近大きく前進した分野の成果や考え方を集成して解説すると共に、できるだけ次の数年間への問題提起を行うことを目的として「最近の化学工学」講習会シリーズを企画しています。今年度のテーマ「カーボンニュートラルに貢献する触媒・反応工学」では、触媒の開発と設計、および反応器・反応プロセス開発の観点から、二酸化炭素排出量の削減に資する化学転換と有効利用技術について紹介します。初日は、触媒総論に加えて、具体例として二酸化炭素からのメタノール、ギ酸、メタン合成に関する触媒反応メカニズムと触媒反

応器について紹介します。2日目は、二酸化炭素のケミカルや燃料への触媒転換、および触媒インフォマティクスと併せて、二酸化炭素の分離回収、反応プロセスと社会実装を紹介します。この機会に、皆さんと一緒にカーボンニュートラル実現に向けた課題を議論したいと考えています。なお、テキストとして講習会講師執筆による三恵社刊「カーボンニュートラルに貢献する触媒・反応工学」を使用します。皆様奮ってご参加下さい。

日時 2023年1月16日(月)・17日(火)の2日間
会場 オンライン

プログラム

初日(1月16日(月))

第一企画委員長挨拶(9:30～9:40)

東京工業大学 大友順一郎

1. カーボンニュートラルに貢献する触媒・反応工学(9:40～10:00)

東京工業大学 多湖輝興氏

2. [基調講演]二酸化炭素転換触媒総論(10:00～11:00)

アイシーラボ 室井高城氏

3. CO₂水素化によるメタノール合成の触媒反応メカニズム(11:00～11:50)

九州大学 中村潤児氏

～昼休憩(11:50～13:00)～

4. メタノール工業化に向けて(13:00～13:50)

産業技術総合研究所 藤谷忠博氏

5. メタノール・ギ酸-反応機構に基づく触媒設

計 - (13:50 ~ 14:40)

産業技術総合研究所 姫田雄一郎氏
- 休憩 (14:40 ~ 14:50) -

6. 産業排出CO₂の資源化と固定化：革新的メタネーションで拓く新技術 (14:50 ~ 15:40)
静岡大学 福原長寿氏
7. メタネーション-固定床触媒反応器の反応・伝熱・流動を考慮した数値流体力学シミュレーション (15:40 ~ 16:30)
名古屋大学 則永行庸氏
8. 総合討論 (16:30 ~ 17:00)

2日目 (1月17日 (火))

9. 二酸化炭素からの炭化水素・オレフィン合成 (9:30 ~ 10:20)

富山大学 椿 範立氏

10. CO₂膜分離 (10:20 ~ 11:10)
神戸大学 神尾英治氏, 松岡 淳氏

11. 二酸化炭素とアルコール・アミンからの有機カーボネート・尿素誘導体合成 (11:10 ~ 12:00)
東北大学 富重圭一氏

- 昼休憩 (12:00 ~ 13:00) -

12. 触媒インフォマティクス (13:00 ~ 13:50)
産業技術総合研究所 矢田 陽氏

13. 再生可能エネルギーからの燃料合成 (13:50 ~ 14:40)

成蹊大学 里川重夫氏
- 休憩 (14:40 ~ 14:50) -

14. 二酸化炭素の触媒転換による燃料および化学原料の合成 (14:50 ~ 15:40)

(株)IHI 鎌田博之氏

15. [基調講演] カーボンニュートラル実現に向けた水素・CCU (15:40 ~ 16:40)
産業技術総合研究所 高木英行氏

16. 総合討論 (16:40 ~ 17:10)

募集人数 150名

参加費 正会員 (含協賛団体) 29,000円, 法人会員 (含協賛団体) 社員 34,000円, 学生会員 8,000円, 会員外 44,000円, サロンメンバー 24,000円

(※なお、それぞれの参加費には消費税・テキスト代が含まれます。)

支払方法 受付後、お送りする振替用紙にて事前にお振り込みください。

申込方法 Web、メールまたはFAXにてお申し込みください。

・Web申込み

関東支部HP (<http://www.scej-kt.org>) の次回行事開催一覧の「最近の化学工学講習会71」をクリック後「参加申込みフォーム」をクリックするとフォームのウインドウが開きますので、必要事項を記入の上、ご送信ください。

・Fax、E-mailによる申込み

下記関東支部事務局宛、「最近の化学工学講習会71」と明記し、会社・学校名、参加者氏名、所属部署、郵便番号、住所、電話、Fax番号、E-mailアドレス、会員資格、参加費請求書送付の必要の有無をご記入の上お送りください。

申込締切 2022年12月28日 (水)

申込先 (公社)化学工学会関東支部事務局
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19 共立会館内
TEL : 03-3943-3527 FAX : 03-3943-3530
E-mail : info@scej-kt.org

関西支部

マイクロプロセス最前線シリーズ 「マイクロリアクター 現状と今後の展望」講演&見学会

主催 化学工学会関西支部
協賛 岡山マイクロリアクターネット、化学工学会反応工学部会マイクロ化学プロセス分科会、近畿化学協会、触媒学会、日本化学会近畿支部、日本プロセス化学会、日本薬学会関西支部、有機合成化学協会関西支部<何れも予定>

日時 2022年12月2日 (金) 10:00 ~
会場 (株)神鋼環境ソリューション 播磨製作所 (兵庫県加古郡播磨町新島19)
(交通) JR山陽本線土山駅もしくは山陽電鉄播磨町駅より、バスまたはタクシーに乗り。
https://www.kobelco-eco.co.jp/company/map_harima.html

プログラム

- 見学会 (10:00 ~ 12:00) 於：同所内3階会場
「化学品生産プロセスの強化に向けたマイクロリアクター (積層型多流路反応器 SMCR) および次世代プロセス機器に関する取り組み」
- 講演会 [何れも質疑応答約10分含む] 於：同所内1号館2階会場
1) [基調講演] プロセス強化をはじめとするマイクロ化学プロセス技術の展開 (13:30 ~ 14:30)

(京大院工)外輪健一郎氏

- 2) マイクロ流路内の高速せん断場と相分離誘起の活用法 (14:30 ~ 15:10)

(岡山大院自然科学)小野 努氏

- 3) マイクロリアクターによるフロー連続粒子製造プロセスの開発 (15:30 ~ 16:10)

(KRI)伊藤 聡氏

- 4) 医薬品製造のためのフロープロセス開発と実装 (16:10 ~ 16:50)

(カネカ)大石孝洋氏

3. 懇親会 (予定) (17:00 ~) 参加費 3,000円 ※セミナー参加費には含まれません。

※状況によってはプログラムの変更 (オンライン式、または中止) が生じる場合がありますので、ご了承ください。

申込締切 11月18日 (金) ただし定員 (30名) になり次第締切。

参加費 主催・協賛団体個人正会員 22,000円、主催・協賛団体所属法人会員 25,000円、大学・公設機関 9,000円、学生会員 5,000円、会員外学生 7,000円、会員外 39,000円 (テキスト代・消費税込)、懇親会参加 3,000円 (消費税込)

申込方法 Web上の参加申込フォーム
<https://www.kansai-scej.org/form/view.php?id=35552> よりお申し込みください。参加費は、銀行振込 [りそな銀行 御堂筋支店 普通預金 No.0405228 名義 公益社団法人化学工学会関西支部] をご利用ください。(振込手数料ご負担ください。)

※参加費は「主催・協賛団体の支部以外」にご所属の場合でも「主催・協賛団体」としてお取扱いいたします。

※11月21日以降のキャンセルは参加費等を申し受けますので、ご了承ください。

問合せ先 (公社)化学工学会関西支部
〒550-0004 大阪市西区朝本町1-8-4 大阪科学技術センター6階
TEL : 06-6441-5531 FAX : 06-6443-6685
E-mail : apply@kansai-scej.org

先端技術を支える単位操作シリーズ 超臨界プロセスの最前線

主催 化学工学会関西支部
協賛 化学工学会超臨界流体部会、近畿化学協会、触媒学会、繊維学会、日本化学会近畿支部、日本分析化学近畿支部、有機合成化学協会関西支部

日時 2022年12月9日 (金) 12:50 ~ 17:00
場所 大阪科学技術センター7階700号室 (大阪市西区靱本町1-8-4、交通: Osaka Metro 地下鉄四つ橋線「本町」駅25・28番出口より北へ徒歩7分、うつば公園北詰)

プログラム (質疑応答時間含)

- 超臨界流体を利用した高分子複合材料の開発 (13:00 ~ 13:50)
(広島大院先進理工)木原伸一氏
- 超臨界水を利用した有機合成・未利用資源変換 (13:50 ~ 14:40)
(東大院新領域創成科学)秋月 信氏
- 超臨界二酸化炭素を用いた繊維加工 (15:00 ~ 15:50)
(京工繊大繊維)奥林里子氏
- 液化二酸化炭素を移動相に用いたクロマトグラフィー (SFC) 技術の紹介 (15:50 ~ 16:40)
(ダイセル)宮澤賢一郎氏

名刺交換会 (16:40 ~ 17:00)

参加費 主催・協賛団体個人正会員 12,000円、主催・協賛団体所属法人会員 15,000円、大学・公設機関 6,000円、学生会員 2,000円、会員外 28,000円、会員外学生 4,000円 (テキスト代・消費税込)

申込締切 12月1日 (木) ただし、定員 (40名) になり次第締切

申込方法 参加申込フォーム (<https://www.kansai-scej.org/form/view.php?id=38390>) よりお申し込みください。参加費は、銀行振込 [りそな銀行 御堂筋支店 普通預金 No.0405228 名義 公益社団法人化学工学会関西支部] をご利用ください。

※主催・協賛団体の他支部に所属の場合でも主催・協賛団体所属会員としてお取扱いいたします。

注意事項

- ・感染状況の拡大によりオンラインでの開催へ変更させていただく場合があります。また、講師の都合でオンラインからの講演となる場合が有ります。
- ・マスク着用等、コロナ感染防止対策へのご協力をお願いします。
- ・参加申込後のキャンセルは12月5日までにお願いします。期日までにご連絡のない場合は参加費を申し受けます。
- ・参加申込者には12月6日頃に詳細な案内状をE-mailにてお届けします。

問合せ先 (公社)化学工学会関西支部
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階
TEL : 06-6441-5531 FAX : 06-6443-6685
E-mail : apply@kansai-scej.org

重合工学レクチャーシリーズNo.9 プラスチックのケミカルリサイクル

主催 近畿化学協会重合工学部会
共催 化学工学会関西支部、近畿化学協会

日時 2023年1月12日 (木) 9:55 ~
会場 大阪科学技術センター7階701号室 (大阪)

市西区鞆本町 1-8-4)
 (交通) Osaka Metro 地下鉄四つ橋線「本町」駅 25・28 番出口より徒歩約 7 分、うつほ公園北詰め

プログラム

開会挨拶 (9:55 ~ 10:00)

(阪公立大院工) 安田昌弘 氏

1. カーボンニュートラルに関する海外の動向と日本の課題 (10:00 ~ 11:00)

(浅岡法律事務所 / 気候ネットワーク)

浅岡美恵 氏

2. 動静脈連携を志向したプラスチックリサイクル研究開発事例 - 熱分解法によるプラスチックの化学原料化 - (11:10 ~ 12:10)

(東北大院環境科学) 吉岡敏明 氏

<オンライン講演>

3. ガス化技術による廃プラスチックのケミカルリサイクル (仮題) (13:30 ~ 14:30)

(荏原環境プラント) 佐藤郁磨 氏

4. 使用済プラスチックの再利用 - アンモニアなどの製造 - (14:40 ~ 15:40)

(昭和電工) 栗山常吉 氏

5. マイクロ波による廃プラスチックのケミカルリサイクル (15:50 ~ 16:50)

(マイクロ波化学) 木谷 径 氏

6. 懇親交流会 (17:00 ~ 18:30) 参加無料

参加費 主催団体会員 5,000 円, 共催団体会員 15,000 円, 一般 20,000 円, 学生 5,000 円

申込締切 2023 年 1 月 6 日 (金) ただし定員 30 名になり次第締切。

申込方法 HP <http://kinkachemistry.sakura.ne.jp/>

form/view.php?id=49818 よりお申し込みください。参加費は現金書留または銀行振込(三井住友銀行 備後町支店 普通預金 No.1329441 一般社団法人近畿化学協会名義)をご利用ください。(振込手数料は参加者でご負担願います。)

※受講者には参加証をお送りします。
 ※プログラム内容は状況により変更の可能性があります。

問合せ先 (一社)近畿化学協会重合工学会

〒550-0004 大阪市西区鞆本町 1-8-4 大阪科学技術センター 6 階

TEL : 06-6441-5531 FAX : 06-6443-6685

E-mail : polymer@kinka.or.jp

九州支部

第 25 回「企業と大学・高専の 人材育成懇談会」

化学工学会九州支部では、企業と大学・高専間の人材育成および求人・就職に関する情報交換を目的として、首記の懇談会を開催します。

主催 化学工学会九州支部

共催 東九州化学工学懇話会, 西九州化学工学懇話会, 南九州化学工学懇話会, 北九州化学工学懇話会, 沖縄化学装置懇話会

日時 2023 年 1 月 20 日 (金) 13:00 ~ 19:30 予定

会場 リファレンス 駅東ビル 3F 会議室 H-2

福岡市博多区博多駅東 1 丁目 16-14 リファレンス 駅東ビル

TEL : 092-432-0058

<http://re-rental.com/ekihigashi/access/>

プログラム

1. 支部長挨拶

2. 各参加企業から事業概要説明 (各企業 5 分程度)

3. 参加企業と大学・高専との相談会 (ブース形式) 名刺交換・懇談 (3 時間程度)

4. 懇親会

参加費

会員企業の方 1 人 3 万円

非会員企業の方 1 人 3 万 5 千円

大学・高専の方 1 人 5 千円

定員 18 社 (申込順, 1 社 2 名以内)

申込方法 申込書を九州支部へご請求の上、ご記入後 E-mail または FAX にてご返送下さい。

また、参加費は、来年 1 月末までにお振り込みください。振込先は申込後にお伝えします。

なお新型コロナウイルスの感染状況により、オンラインにて開催する場合があります。申込書には「オンラインになった場合の参加のご予定」もご記載ください。

申込締切 2022 年 11 月 30 日 (水)

申込先 〒819-0395 福岡市西区元岡 744 九州大学工学研究院化学工学部門内 化学工学会九州支部

TEL&FAX : 092-802-0009

E-mail : kshibu@chem-eng.kyushu-u.ac.jp

URL : <http://www3.scej.org/kyushu/>